

## 令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

|          |   |
|----------|---|
| P T A名   | 静岡県立西部特別支援学校 P T A  |
| 学 校 名    | 静岡県立西部特別支援学校 P T A<br><input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部    | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部                                  |
| 全校児童・生徒数 | 141人  |

### 1. 使用状況

|               |  |
|---------------|--|
| 寄贈物品名         | サイバーホイール   |
| 使用学年及び人数      | 小学部1年生から中学部3年生   |
| 使用頻度          | サイバーホイールを用いた学習中は、ほぼ毎日(1カ月程度)   |
| 使用状況          | <p>&lt; 小学部 &gt;<br/>         単元名 遊びの指導「あおむしくんとあそぼう～揺れよう、はねよう～」<br/>         (全30回のうち28回使用)</p> <p>○使用の方法<br/>         ・サイバーホイールの中に寝転んで、教師がゆっくり左右に転がす。<br/>         ・教師と一緒に座って上下に跳ねる。</p> <p>&lt; 中学部 &gt;<br/>         単元名 どう・く・つに行こう (全27回のうち14回使用)</p> <p>使用の仕方<br/>         ・冒険に向かうための船に見立てて使用した。サイバーホイールの中心に生徒が乗り、音楽に合わせていろいろな揺らし方で楽しむことができた。生徒は揺れを感じると表情を変えたり、体を動かしたりすることができた。</p> <p>&lt; その他 &gt;<br/>         ・昼休みや学級活動の時間に遊ぶ児童生徒も見られた。</p> |
| 物品の使用による変化や効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりと左右に転がすとその揺れに合わせて体をゆだねることができた。</li> <li>・サイバーホイールの中の鈴の音を聞きながら揺れを楽しむことができた。</li> <li>・座った姿勢で、弾ませることで縦の揺れや弾む感覚を味わうことができた。</li> <li>・ホイールに布を掛けると、ホイールの中から見る景色が変わりそれを楽しむことができた。</li> <li>・個に合った揺らし方を工夫したところ、揺れを楽しむ様子たくさん見られた。また、その様子を見た生徒が、「自分もやってみたい。」とはっきりと意思表示を表すことができた。</li> </ul>   |
| 今後の活用の見通しや課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイナミックに回転を楽しんだり、静かな揺れを感じたりと、個の実態に合った活用ができています。</li> <li>・人気がある教具であるため、各学部の年間指導計画で使用する単元を決め、他学部と重ならないように調整する。</li> <li>・2年目であるため、教員自身が活用のイメージを持てるようになってきた。今後も実践を通して活用の幅を広げ、使用回数を増やしていきたい。</li> </ul>  |
| その他希望や所感など    |  |

## 2. 活用の様子



サイバーホイールの中で横になり、ゆっくりと左右に動くと、少しずつ笑顔になった。布を掛けた状態で動かすと、布の動きをよく見ていた。



教師と一緒に左右に動いたり、上下に動いたりするとその動きの変化に気付き声を出して笑った。



学習発表会でも使用した。